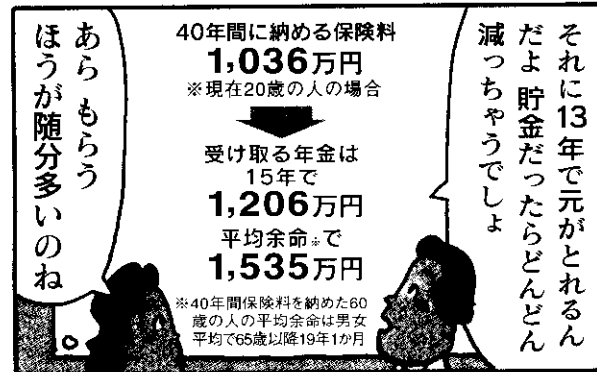
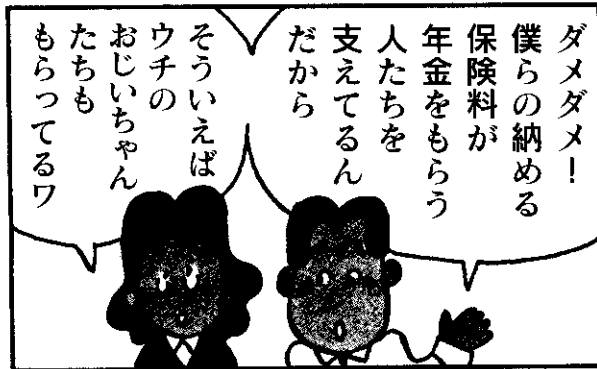


⑦ 若い世代は払い損になるのでは？

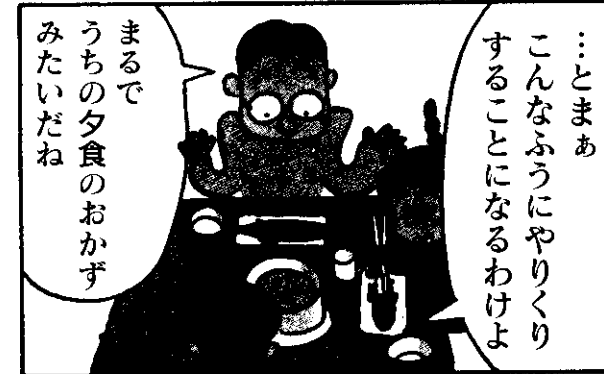
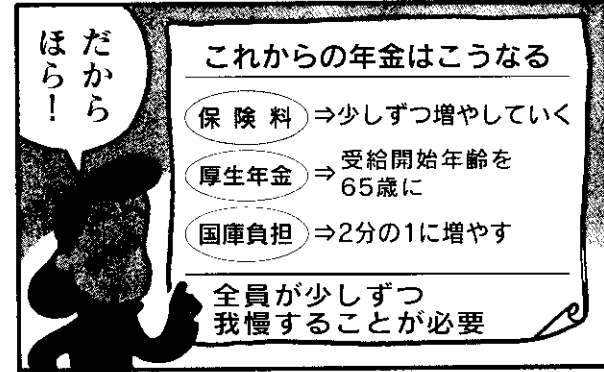
年金はトクか、ソンか？



年金制度は、その時代の現役世代の保険料が年金を受ける世代の生活を支える「世代間扶養」のしくみ。その年金を損得勘定で考えるのは不適切ですが、あえて計算してみても平均余命を生きれば、支払った保険料以上が年金となって自分に返ってきます。

⑥ 12年改正で若い世代の保険料負担を軽減

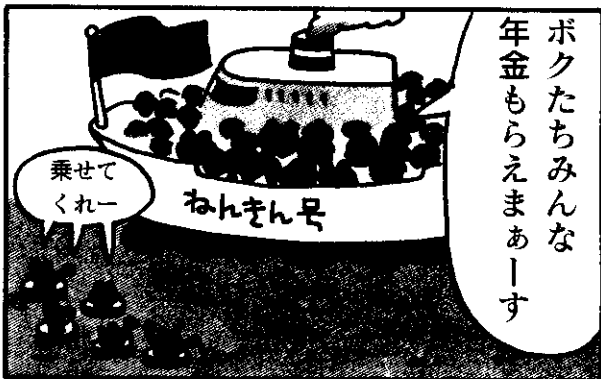
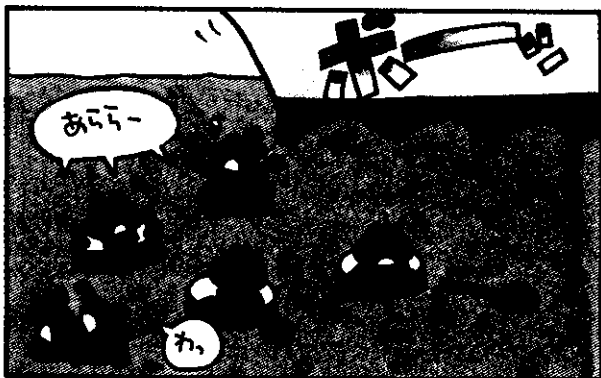
みんなで少しずつ我慢すれば！



年金額が多くなれば保険料も高くなります。保険料を負担する若い世代の生活が苦しくならないよう、受け取る年金を少し抑えたのが平成12年の年金改正です。現役世代も年金受給世代も、ともに納得できることが大切なんです。

⑨ 空洞化で年金はつぶれるか

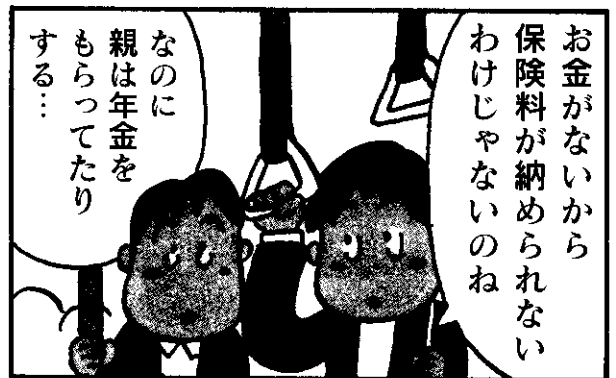
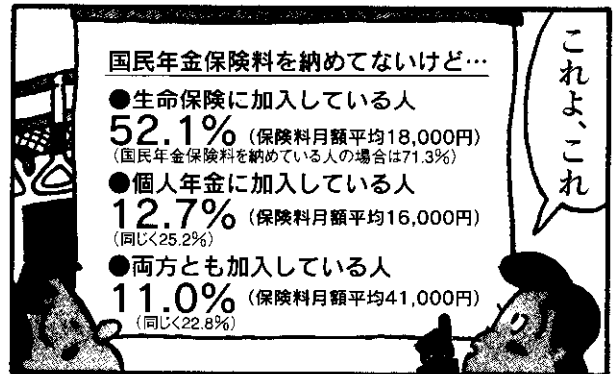
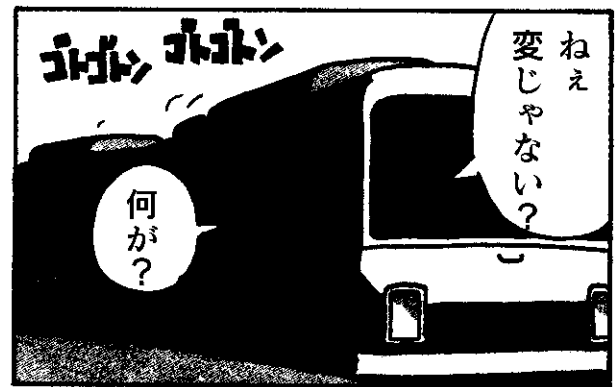
井の中の蛙、大海を知らず



国民年金の未加入者・未納者は全体の5%。95%の国民はきちんと保険料を払ったり手続きをしており、一部の報道でいわれる「空洞化」はありません。将来、無年金となってしまう人がでないよう、国としては徹底して保険料納付を働きかけていきます。

⑧ 未納者はお金がなくて払えないのか

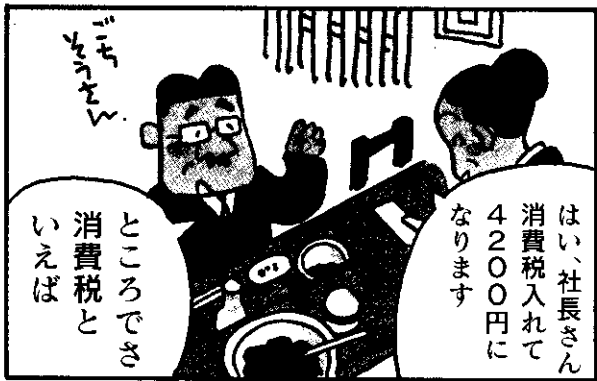
ねえ、変じゃない？



公的年金は「すべての国民の“安心”を、みんなで支え合おう」と始まった社会保障の制度です。なのに、どうしてお金はあるのに払っていない人がいるのでしょうか？ 今後、国としてはこうしたルール違反の人たちへ保険料収納対策を徹底していく考えです。

⑪ 基礎年金を全額消費税で賄うとしたら

えっ、それって巻き添えじゃない!?



年金を消費税で賄う
つて案があるらしいよ
ホラッ

未納者が多いので
年金目的消費税を導入しよう!

新しい目的消費税は
当初5.5% (現行の消費税とは別に)

高齡化のピーク時
には9.2%



保険料を納めていない人は、社会のみんなに迷惑をかけています。一握りの保険料を納めない人たちが無年金者にならないために、消費者全員が負担増を受け入れることになるこの税方式の考え方で、国民の合意が得られるものでしょうか。

⑩ 年金をもらうつもりはないというけれど

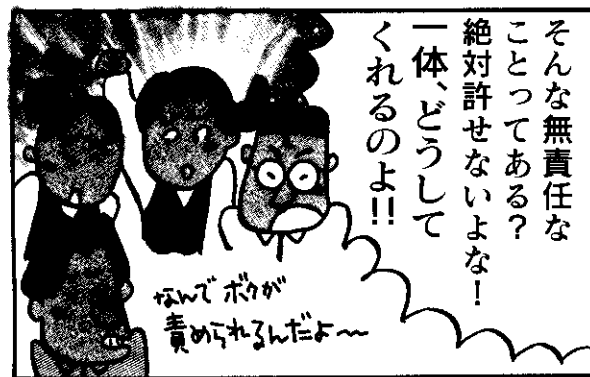
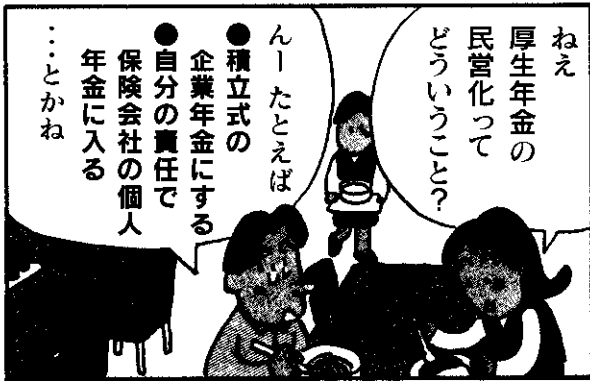
自分だけ知らんぷりなんてカッコ悪い



公的年金は「世代間扶養」。私たち現役世代の保険料で自分の祖父母や親を含む年金受給世代に年金を支給するしくみです。保険料を納めていないのは、自分の年金がなくなるだけでなく、社会の一員としての責任を果たしていないことにもなります。

⑬ 厚生年金の民営化とは？

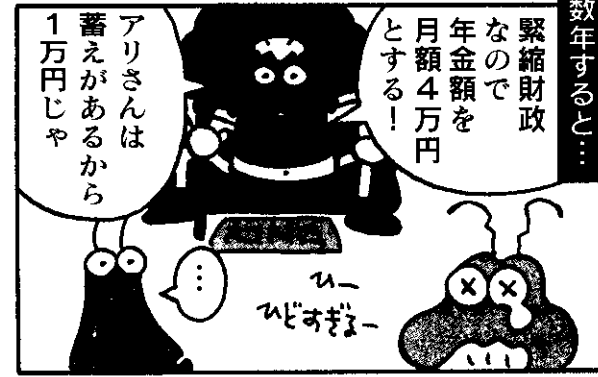
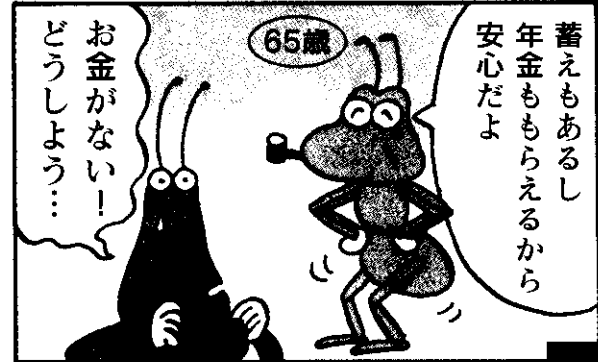
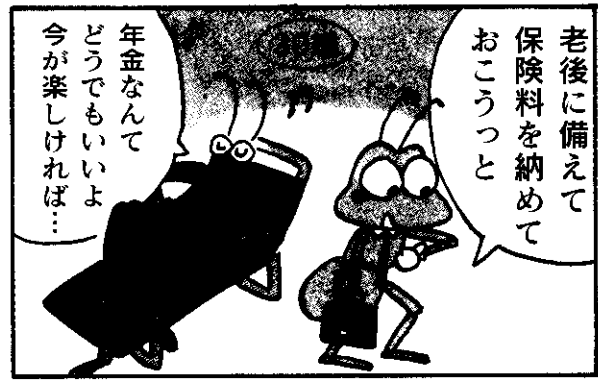
自己責任といえは聞こえはいいけれど



退職すると収入の途がなくなるサラリーマンにとって、現役時代の収入の一定割合を生涯にわたって保障する厚生年金はかけがえのない生活の支えです。インフレなどのリスクに対応できるのは公的年金だけ。厚生年金の民営化は非現実的な選択ではないでしょうか。

⑭ もしも国民年金が税方式になったら

アリもキリギリスも、悲しい結末に



税方式では負担と給付の関係がないので、国の財政状況や個人の所得によって給付が削減されかねません。保険料を納めた実績によって年金を給付する社会保険方式を基本に、税財源を組み合わせる年金制度を安定的に運営することが適切です。